

◆ 雨の降り方と強さ

| (1時間雨量) | (10~20mm) | (20~30mm) | (30~50mm) | (50~80mm) | (80mm以上) |
|-------------|--|--|---|---|---|
| 予報用語 |  やや強い雨 |  強い雨 |  激しい雨 |  非常に激しい雨 |  猛烈な雨 |
| 人の受けるイメージ | ザーザーと降る。 | どしゃ降り。 | バケツをひっくり返したように降る。 | 滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く) | 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。 |
| 人への影響 | 地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 | 傘をさしていてもぬれる。 | | 傘は全く役に立たなくなる。 | |
| 屋内(木造住宅を想定) | 雨の音で話し声がよく聞き取れない。 | 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。 | | | |
| 屋外の様子 | 地面一面に水たまりができる。 | | 道路が川のようになる。 | 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 | |
| 車の中 | | ワイパーを速くしても見づらい。 | 高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象) | 車の運転は危険。 | |

◆ 豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、一律に市指定避難所に避難すれば良いというものではありません。災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。



◆ マイ・タイムライン(私の・家族の避難行動計画)

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりの防災行動計画であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、取りまとめるものです。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されています。

自宅の危険度(想定浸水深度等)、避難場所の位置、避難経路の安全性、家族構成(避難行動に支援が必要な方がいるのか)、ペットの有無等を考慮して、自分の行動を決めていきます。



これらの内容は、あくまでも一例です。自分用のマイ・タイムラインを作成する際の参考としてご利用ください。

マイ・タイムラインについてさらに詳しく知りたい方は、下記ホームページをご参照ください。

国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

<https://mytimeline.river.or.jp/>